

9月は、「茨城県認知症を知る月間」です



県では、世界アルツハイマーデーや老人週間を含む9月を「茨城県認知症を知る月間」として、認知症の早期発見や認知症予防に関する取り組みを促進しています。

認知症は誰にでも起こりうる病気です。認知症について誰もが正しく理解し、認知症高齢者やその家族が安心して暮らすことができる地域をつくるために、県内では、さまざまな広報啓発運動や環境づくりが進められています。

認知症って何？

■認知症は病気です

「認知症」は何らかの原因で障がいがあり、脳の機能が低下することで「物忘れ」や「判断力低下」などが起こることにより、日常生活がうまく行えなくなる脳の病気です。

■主な症状

記憶障害 最近のことを忘れてしまう。同じ質問を繰り返す。

見当識障害 今がいつなのか、ここはどこなのか分からなくなる。

判断力の低下 真夏でもセーターを着る。真冬でも薄着で外出する。

「世界アルツハイマーデーとは」

1994(平成6)年9月21日に第10回「国際アルツハイマー病協会国際会議」が開催され、アルツハイマー病に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的として、世界保健機関(WHO)の後援を受けて9月21日を「世界アルツハイマーデー」と宣言しました。さらに2012年に同協会は9月を「世界アルツハイマー月間」に制定しました。

以降、毎年世界の70以上の国と地域で、認知症の方やその家族への支援活動が展開されています。

●お気づきですか? . . . 認知症を知らせる信号 . . .

- ・ しょっちゅう、同じことを何度も言ったり、聞いたりするようになった。
- ・ 物の名前が出てこなくなった。
- ・ 置き忘れやしまい忘れが目立つようになった。
- ・ 以前はあった関心や興味が失われた。
- ・ 水道の蛇口の閉め忘れ、ガスの火の消し忘れが目立つようになった。
- ・ 財布やお金などを「盗まれた」と言うようになった。 . . など

『認知症サポーター養成講座開催』を開催します

市では、認知症の早期発見や認知症になりやすくする心がけなど、認知症を正しく理解し応援者になる「認知症サポーター」を養成するため、市主催による認知症サポーター養成講座を開催しますので、お気軽にお問合せください。

開催日は 10月15日(日) 11月18日(土)です

問合せ先：介護高齢課 (TEL52-1111 内線172)